

冬の寒さも少しずつ緩み、あたたかな日差しに春の訪れが感じられる季節となりました。本日は、私たちのためにこのような心のこもった卒業式を挙行していただき、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ、諸先生方、保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、私たちは今、卒業にあたり、三年間共に過ごした仲間たちと離れ離れになる寂しさと、来月から始まるそれぞれの新しい生活に対する期待を抱いています。思い返してみると、この長野吉田高校で過ごした三年間はあつという間で、とても思い出深い時間でした。

不安で胸がいっぱいになりながら、迎えた合格発表当日。自分の番号を見つけたときの喜びは、今でもはつきりと覚えています。依然としてコロナは収まらなかつたけれど、新しい仲間と迎えた入学式は、中学校最後の一年間よりもずっと、明るい感じがしました。

初めての文化祭では、来場してくださった方に満足していただけの企画が作れるか不安もありましたが、当日お客さまの笑顔を見てほっとしたことをよく覚えています。しかし、その後再びコロナウイルスの感染が広まり、秋と春のクラスマッチの開催は中止となってしまいました

た。仕方がなかったとはいえ、楽しみにしていた行事がなくなるのは悲しいことでした。

二年生になると、「学校生活、班活動、生徒会活動に加え、コロナがある」生活にも慣れてきていました。秋に行われた初めてのクラスマッチでは、クラスを優勝へ導くために、一生懸命練習に取り組む仲間の姿がとても印象に残っています。中学の時に行けなかった修学旅行は、期待に満ちあふれていました。初めての飛行機、多くの外国人と一緒に歩いた国際通り、実際にガマに入って考えた平和の大切さ。夜には友人たちと遅くまで話し込んで寝不足になったことまで含めて、忘れられない思い出です。

そして、三年生。所属する班活動の最後の試合を控える人もいれば、最初で最後の文化祭を成功させるために、日々奮闘する生徒会役員の姿もありました。高校生活最後の文化祭では、クラスダンスを体育館に戻し、数年ぶりに模擬店と一般公開を復活させることができました。自分たちも経験していない形での開催になったことで、手探りの部分も多く不安もありましたが、役員をはじめ全校のみなさん、先生方の協力で無事すべての企画を実

行することができました。暁峰祭に新しい伝統を残すことができたことは、今でも私たちの誇りです。

今思い返してみると、最後までコロナとの共存は難しかったけれど、制限がある中でそれでも最善を選んで成功を収めていく、冒険のようなワクワクする三年間でした。素敵な仲間たちのおかげで、コロナがあっても、楽しく過ごすことができました。

そんな三年間の中で、かけがえのない経験として挙げられるものは、班活動です。私の場合は生徒会活動でしたが、どの活動も顧問の先生の協力や仲間たちとの協力がなければできないことばかりで、先生方や仲間の大切さを学ぶ機会となりました。在校生のみなさんも、仲間と過ごすことのできる残りの時間を大切にしてください。

また、在校生のみなさんには「どんなことでもまず、挑戦すること」の大切さもお伝えしたいと思います。私自身、生徒会長に立候補した理由は「楽しそうだから」というものです。新しいことに挑戦するには勇気がいるりますが、とにかくまずやってみることで、次に繋がる経験を得ることができそうです。自分で自分に制限をかけないで、ぜひ、自分の興味のあることに挑戦してみてください。

さい。その中で時には思い通りにならず、辛く感じることもあるかもしれませんが。でもそれは本気で挑戦したからこそ感じる思いです。みなさんの周りにはたくさん仲間、支えて下さる家族や先生方がいます。困った時、つらい時には周囲の力を借りながら、夢の実現に向けて歩みを進めていってください。

また、今日まで私たちを支え、時には優しく、時には厳しく私たちに接してくださった先生方、本当にありがとうございました。先生方のおかげで、自分のやりたいことを明確することができた三年間となりました。「立つ鳥、後を濁さず」という言葉のように綺麗にはいかないかもしれないけれど、一生懸命に旅立とうとする、たくましく成長した私たちの姿を、もう少しだけ応援してください。

最後に、これまで私たちを育ててくれた家族へ。班活動や生徒会活動、勉強でうまくいかなくて、気持ちが落ち込んだとき、イライラしたとき、心ない言葉をぶつけてしまった時もあるけれど、今から考えると精神面でも生活面でも、一番支えてくれたのは家族でした。三年間、本当にありがとうございました。

これから私たちは、自分たち自身の力でそれぞれの道を切り開いていかなければなりません。そんな状況が少し不安で、一方で楽しみでもあります。この先どんな大きな困難に直面したとしても、この三年間で得た学びや思い出を糧に力強く前に進んでいきます。

最後になりますが、今日まで大きな愛情をもって私たちのことを応援してくださったすべての方々には感謝を申し上げますとともに、長野吉田高校の更なる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

令和六年三月一日

長野県長野吉田高等学校

卒業生代表

山口 弘雅